

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(令和7年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
年間 (4月～3月)

施設名	五日市センター	指定管理者	医療法人財団 暁
指定期間	令和5年4月1日から 令和10年3月31日まで	担当課	高齢者支援課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類		年間計画（A）	実績（B） （モニタリング時）	対計画比率 （B/A×100）
業務の 遂行状況	開館日数（日）		264	274	103.8%
	延べ利用者数（人）		2,000	2,180	109.0%
	事業開催 回数	必須事業（回）	244	242	99.2%
		自主事業（回）	500	711	142.2%
収支状況	収入	指定管理料（円）	15,498,000	15,498,000	100.0%
		利用料金収入(売上)（円）	1,700,000	1,853,000	109.0%
		自主事業収入（円）	2,950,000	4,170,420	141.4%
		その他の収入（円）	-	-	-%
	収入計（円）…①		20,148,000	21,521,420	106.8%
	支出	人件費（円）	11,538,000	14,041,233	121.7%
		維持管理経費（円）	5,660,000	5,998,959	106.0%
		自主事業関係経費（円）	1,323,000	1,813,690	137.1%
		その他の支出（円）	-	-	-%
	支出計（円）…②		18,521,000	21,853,882	118.0%
	収支（①－②）（円）…③		1,627,000	△332,462	-%
	諸経費（本社運営費など）…④		-	-	-%
	総収支（③－④）（円）		1,627,000	△332,462	-%

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

【開館日数・利用者数について】 開館日数は、計画どおり開館しました。利用者数については、計画値と比較すると必須事業は109.0%でした。今後も利用者数の増加に努めます。	【事業の実施状況について】 必須事業については、健康維持及び介護予防を目的として認知症予防体操や軽運動、脳トレーニング等を実施しました。自主事業については、新規講座を行うとともに、周知活動にも努めました。	【収支状況について】 収支については、必須事業109.0%、自主事業141.4%と上向きですが、支出が増加したため、計画値には満たない結果となりました。収支の適正化に努めます。
--	--	--

所管課の評価 (指摘事項)

【開館日数・利用者数について】 開館日数が計画どおりであり、利用者数が計画を上回っています。引き続き、利用者増加に努めてください。	【事業の実施状況について】 事業目的に即したプログラム構成となっており評価できます。自主事業については、新規講座を行うとともに、周知活動を行っている点も評価できますので、引き続き利用者増加につながるような取組をお願いします。	【収支状況について】 収入面では利用料金収入が計画比109.0%。自主事業も増加傾向にある点は評価できます。一方で、人件費が121.7%と増加傾向にあります。利用者人数が増加したこともあり、職員配置等の見直しなどを行い、安全な運営管理を行ってください。
---	--	--

2 チェック項目

評価項目・評価事項（数値目標）			確認資料等	指定管理者の 自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている		日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている		日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の 維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている		各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている		日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している		備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない		実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている		危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている		実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している		保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている		ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している		情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている		日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している		利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている		日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている		日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している		広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・ 人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	8人	人員配置計画、実地、出勤簿	8人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	12回/年	研修マニュアル	実施回数 12回 適正・要改善	適正・要改善
	障がい者や高齢者、地域住民の雇用促進に努めている	100%	人員配置計画	100% 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守やハラスメント対策など、労働環境への適切な配慮がなされている		実地、出勤簿、就業規則等	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている		個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている		保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている		事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる		日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記 1、2 の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）

必須事業では、利用者の健康維持及び介護予防を目的として、体操、手芸活動、レクリエーション、演芸会を実施しました。体操では、椅子に座って行う軽運動やストレッチを中心に実施し、無理なく身体を動かす機会を提供しました。身体機能維持や転倒防止への意識向上につながっています。

手芸活動では、手先を使うことで、脳の活性化や集中力維持を図りました。利用者同士で作品を見せ合いながら交流する様子も見られ、楽しみながら活動していました。演芸会では、地域の介護サービス事業所の利用者や、地域の方々が年間で 120 人程参加し、賑やかな交流の場になっています。

自主事業では、継続して行っている健康講座を 6 回実施し、年間で 113 人の参加者がありました。その中で「老後の備え、医療・介護費用を正しく知る」の講座は人気で 90 人程の参加者があり、「お金のことなど普段は聞けない話があって勉強になり、分かりやすかった」と嬉しい言葉が聞けました。ほかの講座の利用者からは、「五日市センターに来ると元気になれる」といった声も聞かれ、継続参加への意欲向上につながっています。今後も、利用者が安心して楽しく参加できる環境づくりを行い、介護予防及び健康寿命を延ばす活動を継続して実施します。

所管課による所見（指摘事項など）

体操や健康講座が継続して行われており、健康講座には年間 6 回で延べ約 113 人が参加しているなど、地域ニーズを捉え、継続利用を促しているという点で、評価できます。また、椅子で行う軽運動やストレッチなどは無理なく参加できるプログラムであり、高齢者の身体機能の維持や転倒防止の取組として適しています。手芸活動は手指の訓練や脳の活性化が期待でき、さらには作品を通じた交流が見られ、高齢者の孤立予防や社会的つながりの強化に寄与していると思われます。今後も地域交流を行い、利用者の介護予防と安全に楽しく参加できる環境づくりに取り組んでください。